

日本の凧の会

入会のおさそい

●日本の凧の会とは？

日本の凧の会は、凧が好きなたちが親睦をはかることを目的に一九六九年に発足しました。失われつつあった和凧と、凧揚げ遊びの継承を願うことで。現在では「凧文化」を広く民俗学・美術・科学・伝承遊びの側面からとらえ、幅広い活動を行っています。

会員は全国に一三〇〇人ほど。凧に興味をもつ人なら、どなたでも会員になれます。発足当初は、発起人の故・茂出木心護さんの『会費・会則・会長のない自由な会』という言葉どおりに運営されてきました。しかし会員数が五〇〇人を超えると、そうも言っておられず、会費（年四千円＋入会金千円）や会則（会報に掲載）が設けられました。しかし心意気は当初と変わりません。

●活動の内容は？

運営は会員の年会費でまかなわれ、

実務は月に一回開催される世話人会（手弁当）によって実行されます。本部は、日本橋の洋食レストラン『た

いめいけん』をご好意でお借りしています。凧揚げ大会は、新春・春・秋に開催。新春大会は東京、春季大会は石川県と埼玉県、秋季大会は各地を移動します。この他にも全国で年間四〇以上の大会が開催されており、年二回発行の会報やホームページ（www.tako.gr.jp）で紹介しています。

日本の凧の会は、国内最大の凧愛好家による組織で、世界でも最大の団体です。凧を通じた国際交流もさかんで、本会会員を通じて日本の凧が広く世界に紹介されています。また伝承遊びや工作の普及のため、子供たちへの凧揚げ・凧作り教室も積極的にを行っています。

●大会にご参加ください！

毎年、開催地を移して開催される秋季大会では、各種の賞のほか特別賞が授与されます。それは独

創的な凧に対して贈られる心護杯（一九七八年制定）です。凧揚げ名人・茂出木心護さんは、「ホームラン王ベールブルースは自分でバットを作らない」と、凧の自作はしませんでしたが、凧の未来を担う「作品」に対しては、強い関心を寄せていました。大会は、どなたでも参加することができます。

●誰でも入会できます！

凧という趣味は、手作りの工作としても、民芸品のコレクションとしても、純粹なスポーツとしても楽しめる間口の広い遊びです。最近、場所がないためか、凧揚げをしたことのない子供が増えています。年長の方でも、凧が風をはらみ、糸をぐいぐい引く感触が失われかかっている人が多いように思えます。

たまには空を見あげて凧を揚げてみませんか？ このチラシが、そのきっかけになります。とを願っています。



やっぱり自分の凧が一番だな。

連絡先／日本の凧の会事務局 〒103-0027 東京都中央区日本橋1-12-10 電話／03-3271-2465

おもな活動／新春大会ほか全国凧揚げ大会開催。会報（年2回発行）。HP 運営・メール通信配信。

会費／年会費4000円／入会金1000円（口座自動引き落としをお願いしています。経費は会が負担）。

●メールのお問い合わせは jka@tako.gr.jp までお気軽に！

情報は2010年9月現在／世話人会発行／©伊地知英信